

## 【ポイント】

- ✓ 富里市では、市域で災害が発生した場合の被害を詳細に想定するため、最新の科学的知見及び自然・社会条件を用いて「富里市防災アセスメント調査」を実施（平成22年3月及び平成30年3月）
- ✓ 市の国土強靱化地域計画及び地域防災計画には当該調査の結果を計画の前提となる被害想定として盛り込み、それらの計画に基づく施策の企画立案にも活用

### 1. 取組の内容

---

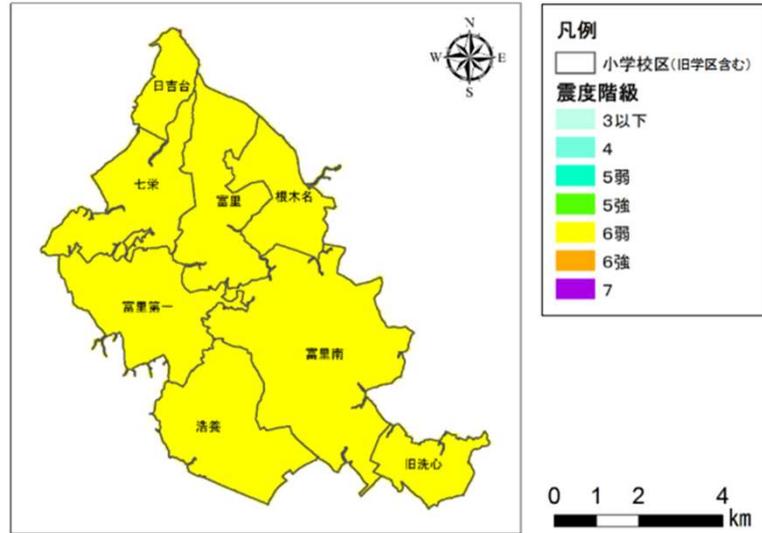
- 富里市では、発生しうる災害として一般的な地震、水害（土砂災害・浸水）を想定しており、その中でも特に甚大な被害が想定されるものは地震である。

### 2. 富里市における被害想定のお考え方

---

- 平成22年の「富里市防災アセスメント調査」では、東京湾北部を震源とする地震を前提にした想定被害項目を調査していたが、東日本大震災や熊本地震などを踏まえ、より厳しい地震を前提にする必要性が認識されたため、平成30年の同調査では、富里市直下を震源とする地震を前提にすることとした。
- 平成30年度以降、同調査にて整理された想定被害をもとに各種施策を立案・実施していたところであるが、令和2年度の地域計画策定過程においても当然、脆弱性評価の前提として、同調査にて整理した地震被害想定を用いている。

(富里市直下地震 (Mw6.8) における震度分布)



(富里市直下地震 Mw6.8 における想定被害項目)

想定項目		単位	富里市直下地震 今回調査	東京湾北部地震 前回調査
地震動	最大震度階級	-	震度6強	震度6弱
液状化	液状化危険度	PL値による判定	危険度高い	-
土砂災害	土砂災害危険度	危険度ランクA	箇所 6	-
		危険度ランクB	箇所 0	-
		危険度ランクC	箇所 1	-
建物被害	全壊棟数	揺れ	棟 1,749	2
		液状化	棟 59	0
		土砂災害	棟 3	9
	計	棟 1,811	11	
	半壊棟数	揺れ	棟 4,705	113
		液状化	棟 214	2
土砂災害		棟 7	22	
計	棟 4,926	137		
火災延焼	出火件数	件	0	-
	焼失棟数	棟	7	-
人的被害	死者	建物倒壊	人 8	0
		土砂災害	人 0	0
		火災	人 1	-
		屋外転倒物等	人 0	0
	負傷者(重傷者)	建物倒壊	人 797 (122)	16 (0)
		土砂災害	人 0 (0)	4 (2)
要救助者	火災	人 1 (0)	- (-)	
	屋外転倒物等	人 10 (4)	6 (2)	
		人	38	-
	断水人口	人	25,679	-

### 3. 被害想定を記載したことによる影響や効果

- 平成30年3月のアセスメント調査では、富里市直下地震の揺れは震度6強が想定されており、これは、東日本大震災の際に富里市で計測された震度5弱よりも大幅に強い想定である。
- 地域計画策定過程において、人的被害やライフラインへの被災想定や対応して実施している施策を網羅的・体系的に整理することができ、その重要性を改めて市内にて確認・認識することができた。